

マルチテナント型物流施設「ロジポート多摩瑞穂」着工 ～東京都心まで約1時間、首都圏・全国への配送拠点に～

ラサール不動産投資顧問株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 キース藤井、以下「ラサール不動産投資顧問」)は、同社が組成した特定目的会社を通じ、マルチテナント型物流施設「ロジポート多摩瑞穂」の地鎮祭を本日2月13日に執り行い、着工しましたことをお知らせします。

「ロジポート多摩瑞穂」は、敷地面積70,826.64㎡、延床面積162,125.07㎡の地上4階建てのマルチテナント型物流施設です。当施設は、東京都西多摩郡瑞穂町に所在し、東京都心まで約1時間と、大消費地を目前に控えた物流適地に立地します。また国道16号に面した希少立地にあり、圏央道「青梅IC」まで約4kmと近接していることから、首都圏全域はもとより、関越自動車道や東北自動車道等を経由し全国への配送拠点としても優れています。



【外観パース】※完成イメージ

当施設は、各階への着車を可能にするランプウェイを2基採用し、床荷重1.5t/㎡、梁下天井有効高5.5m以上、柱スパン10m以上を備えた汎用性の高い仕様となる予定です。最小約830坪から分割利用が可能で、1フロア最大約10,500坪まで利用できるため、様々なテナントニーズに対応する最新鋭の物流センターとなります。また敷地内には、約360台分の普通自動車の駐車スペース、約40台分の大型車待機場、約60台分のバイク置き場、約240台分の駐輪場を整備し、入居企業の雇用対策をサポートします。さらに施設内には、カフェテリアや無人売店を設けることで、働きやすい環境も整備します。

BCP(事業継続計画)では、強固な地盤を有していることから、大地震・津波リスクを軽減できる、優れた立地と想定されています。BCP対策として、72時間対応の非常用発電機を備えるとともに、環境に配慮したLED照明や人感センサー、節水型衛生器具の設置を計画しています。またSDGsへの取り組みも強化しており、CASBEE-建築(新築)のSランク及びZeb-Readyの取得を予定しています。

ラサール不動産投資顧問、執行役員の永井まりは「本物件は、東京都内及び首都圏全域へのアクセスの優位性と、強固な地盤を有するBCP対策の優位性を活かし、物流効率化に大きく貢献し得る高機能な施設です。各企業による物流効率化の過程で、効率的かつサステナブルな物流オペレーションを可能にする施設へのニーズが高まっており、これらの増加する物流需要を不動産の面から支えることは、マーケット並びに社会の健全な発展に寄与すると考えています。今後も各企業の戦略的物流拠点となる適地を見定め、テナント企業活動のニーズに柔軟に応える物流施設開発を積極的に進めてまいります」と述べています。

【施設概要】

施設名 : ロジポート多摩瑞穂
所在地 : 東京都西多摩郡瑞穂町大字高根字高根新田 623-1 他(地番)
敷地面積 : 70,826.64 m²(約 21,425 坪)
延床面積 : 162,125.07 m²(約 49,043 坪)
構造 : 鉄筋コンクリート+鉄骨造地上 4 階建
用途 : マルチテナント型物流施設
着工 : 2023 年 2 月 13 日
竣工 : 2024 年 6 月(予定)
設計監理監修 : 株式会社日立建設設計、株式会社エノア総合計画事務所
設計施工 : 東急建設株式会社
施主 : 瑞穂プロパティ-特定目的会社

【周辺地図】



【広域地図】



ラサール不動産投資顧問株式会社について

ラサール インベストメント マネージメントは、世界有数の不動産投資顧問会社です。世界規模で、私募、公募の不動産投資活動、負債性投資をしており、総運用資産残高は約 790 億米ドルです(2022 年 9 月末現在)。主要顧客は、世界の公的年金基金、企業年金基金、保険会社、政府関連、企業、その他基金(大学基金他)などで、世界中の機関や個人投資家の資金管理を行い、セパレートアカウント型投資、オープンエンド型ファンド、クローズドエンド型ファンド、公募証券、エンティティレベル投資等の手法で投資を行っています。また、世界最大級の総合不動産サービス企業であるジョーンズ ラング ラサール グループ(ニューヨーク証券取引所上場:JLL)傘下にあります。なお、ラサール不動産投資顧問株式会社は、ラサール インベストメント マネージメントの日本法人です。詳しい情報は、<http://www.japan.lasalle.com> をご覧ください。